❖久留米つつじマーチ参加者募集

豊かな筑後路を歩く2日間

日本マーチングリーグ公式大会「久留米つつじマーチ」を4月20日㈯、21日㈰に開催します。久留米の自然、歴史、芸術などをのんびりと歩きながら満喫できます。

魅力あるコース

5～40㎞までのコースがあり、市内外を巡ります。

【4月20日㈯】■40㎞・歴史の道 草野・善導寺コース ■20㎞・大パノラマ 森林つつじ公園コース ■10㎞・久留米市美術館 石橋文化センターコース ■5㎞・つつじ祭り1万歩コース

【4月21日㈰】■35㎞・長崎街道・田代代官所コース ■20㎞・やきものの里 皿山・田園コース ■10㎞・全国総本宮水天宮・町並みコース ■5㎞・蔓(つる)が連なる 寺町1万歩コース

子どもと一緒に3㎞

くるめウスや鳥類センターなどを親子で歩くキッズウオークもあります。対象は未就学児と保護者。

■日時4月21日㈰9時15分に中央公園出発。受付は9時まで ■定員300人・当日先着順。料金は無料

太宰府で歴史を感じる

「せっかくウオーク」では、大宰府政庁跡（太宰府市）を出発し、歴史的文化遺産を巡ります。

■日時4月19日㈮12時に中央公園出発。帰着17時頃 ■定員200人・先着順 ■料金2700円（往復バス代、保険料含む） ■申込締切3月30日㈯

問久留米つつじマーチ実行委員会事務局（久留米観光コンベンション国際交流協会内、☎0942・31・1777、FAX0942・32・1210）

40・35・20・10・5㎞ コース参加費

	事前申し込み	当日参加
大人	1,500円	2,000円
小学生～高校生	700円	1,000円

1日のみ・2日間参加を問わず同額。
キャンセルの場合、参加費は返金できません。

事前申し込み

申込書と料金を4月19日㈮までに同実行委員会事務局へ。郵便振込、インターネット、ファミリーマートでの申し込みは3月30日㈯まで。申込書は本庁舎1階、各総合支所、各市民センターに準備。3月2日㈯までに申し込んだ場合、特典としてウオーキングシューズが抽選で50人に当たるほか、大会誌に氏名が掲載されます。掲載を希望しない場合は要連絡。

当日申し込み

6時30分から各コースの出発式までに、中央公園会場の受付テントへ。

❖スポGOMI大会inくるめ

ごみ拾いはスポーツだ

仲間と力を合わせて

3月16日㈯にブリヂストンと久留米市が主催してスポGOMI（ゴミ）大会in（イン）くるめを開催します。

スポGOMIは、チームの仲間と力を合わせて、制限時間内に拾ったごみの種類と量を競います。今までのごみ拾いには社会奉仕のイメージがありましたが、スポGOMIは誰もが楽しく参加できる地球に優しいスポーツです。近年、全国的に企業や団体などで取り組まれています。

同大会は、久留米で初開催。当日に発表されるエリア内のごみを、60分間で拾います。上位入賞チームには、車のタイヤや自転車などの豪華賞品が。他にも、全員に参加賞があります。

大会は、小雨の場合も開催します。ジャージやスニーカーなどの動きやすい服装で参加してください。チームみんなで楽しく、まちをきれいにしましょう。

■日時3月16日㈯9時～11時30分。受け付けは8時30分～9時 ■場所久留米百年公園芝生広場 ■定員30チーム（1チーム3～5人） ■申込締切2月25日㈪。申込書は環境政策課、市ホームページに準備

問環境政策課（☎0942・30・9146、FAX0942・30・9715）

垣根の中などに隠れたごみを見つけることも

くるめ学生通信 39

おいしい水道水の秘密

市内の大学生が、久留米市の仕事などを取材し、学生目線で発信するシリーズです。今回の記者は久留米信愛短期大学（1年）岩尾優人さんです。
問広報戦略課（☎0942・30・9119、FAX0942・30・9702）

缶入りの久留米の水道水「筑後川のめぐみ」が、国際的な品評機関モンドセレクションの金賞をとったと聞きました。おいしい水道水の秘密を知るため、放光寺浄水場を訪ねました。

水処理の流れを見学。沈でん池からろ過池へと工程が進むにつれて、水が澄んでいきました

――市役所が缶入りの水道水を製造するのはなぜですか？

災害が発生したときの備蓄用です。缶入りの水道水を年間約3万2000本製造しています。

――ペットボトルではなく缶に入っているんですね。

缶の方が、長期間保存できるからです。賞味期限は3年間となっています。久留米の水道水をPRする目的もあり、浄水場の見学やイベントなどで配布したり、JR久留米駅や道の駅などで販売したりして、多くの人に飲んでもらっています。

――久留米の水道水はおいしいのですか？

筑後川の水がきれいなおかげで、おいしい水が作れています。

――えっ、筑後川の水ってきれいなんですか？

筑後川は、流域に工場などが少ないので、とてもきれいなんですよ。久留米市の水は平成30年にモンドセレクションで金賞を受賞し、「安全性」と「おいしさ」について国際的な高い評価も得ています。

――おいしい水を作るためにこだわっていることはありますか？

水道水には消毒するために塩素が含まれています。使用する塩素がなるべく少なく済むように、浄水過程で活性炭を使うなどの工夫をしています。また、水道法で義務付けられた検査項目に加えて、市が安全でおいしい水を作るために必要だと判断した項目を独自に設け、毎日確認しています。

――水道法が改正されると聞きました。久留米の水道にも影響がありますか？

法律の改正で、民間企業と連携して水道事業を運営できるようになりました。市は、水道事業の経営安定化のため、水道メーターの検針や料金の徴収などはすでに民間企業に委託しています。しかし、安全でおいしい水道水を作り、家庭に届けるという部分は、これからも市がしっかりと取り組んでいきます。

モンドセレクションの審査では試飲や化学分析などが行われました

「筑後川のめぐみ」は、熊本地震など市外の災害でも配布されたそうです

――これまで蛇口をひねれば水が出ることが当たり前だと思っていました。今回の取材で、普段何気なく使ったり、飲んだりする水を作るにはいろんな過程があり、時間がかかることが分かりました。

久留米の水道水の元となる筑後川をもっときれいにするには、ごみのポイ捨てなどを無くすことが大事だと思います。これからは水の一滴一滴を大切にしようと思います。